

No. 4

ケニア国 感染症研究対策プロジェクト (II) 実施協議調査団報告書

平成8年6月

JICA LIBRARY



J 1138976 (4)

国際協力事業団
医療協力部

医 協 二
J R
96-12

ケニア国感染症研究対策プロジェクト (II) 実施協議調査団報告書

平成8年6月

国際協力事業団

407
938
MCN
LIBRARY

ケニア国
感染症研究対策プロジェクト（Ⅱ）
実施協議調査団報告書

平成8年6月

国際協力事業団
医療協力部



1138976 (4)

序 文

ケニア国感染症研究対策プロジェクトは、フェーズ（Ⅰ）において平成 2 年 5 月 1 日から平成 7 年 4 月 30 日までの 5 年間、ウイルス性下痢症、ウイルス性肝炎、細菌性下痢症、住血吸虫症、フィラリア症の 5 分野における基礎研究推進の協力を実施し、更に平成 8 年 4 月 30 日までの 1 年間はフォローアップ期間として協力を実施しました。

今般ケニア国政府より、同国で現在深刻な問題となっている HIV/AIDS の研究に重点を移し、加えて同国において小児の死亡原因の 1/4 から 1/3 を占める急性呼吸器疾患（ARI）の研究対策及び現在の協力分野の継続となるウイルス性肝炎の研究強化を目的とし、本プロジェクトの次期フェーズの協力の可能性を要請越しました。

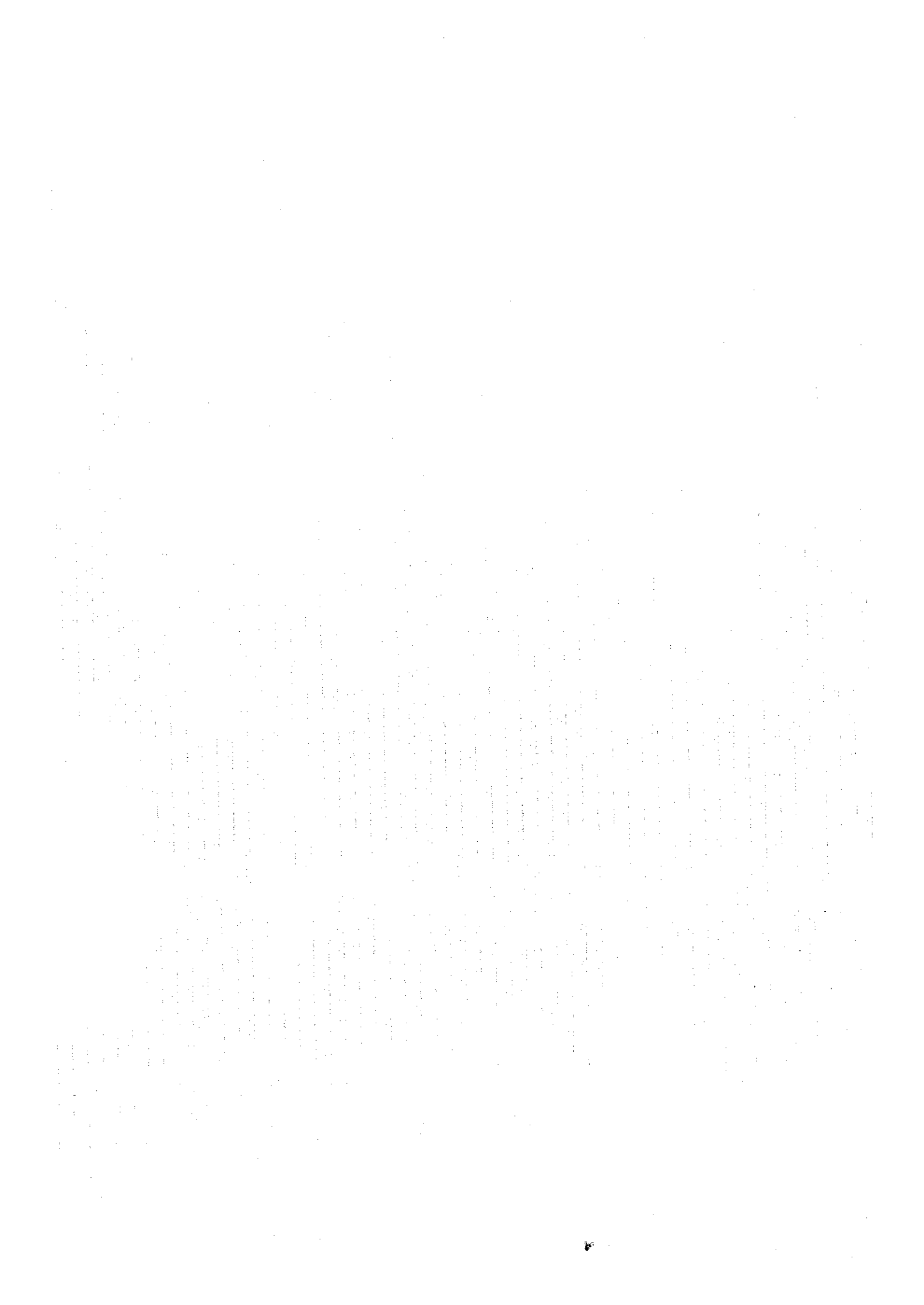
これを受け、平成 8 年 1 月に事前調査団を派遣し、フェーズ（Ⅱ）実施のため、フォローアップの進捗状況及び相手側の実施体制を確認しました。

これらの調査結果を踏まえ、平成 8 年 3 月 24 日から同年 4 月 2 日までの日程で、討議議事録(R/D)及び暫定実施計画 (TSI) を締結することを目的として、札幌医科大学教授千葉峻三氏を団長とする実施協議調査団を派遣しました。本報告書は、この調査結果を取りまとめたものです。

ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる感謝の意を表しますとともに、今後とも本協力事業の成功のために更なるご支援をお願いする次第です。

平成 8 年 6 月

国際協力事業団
理事 小澤 大二



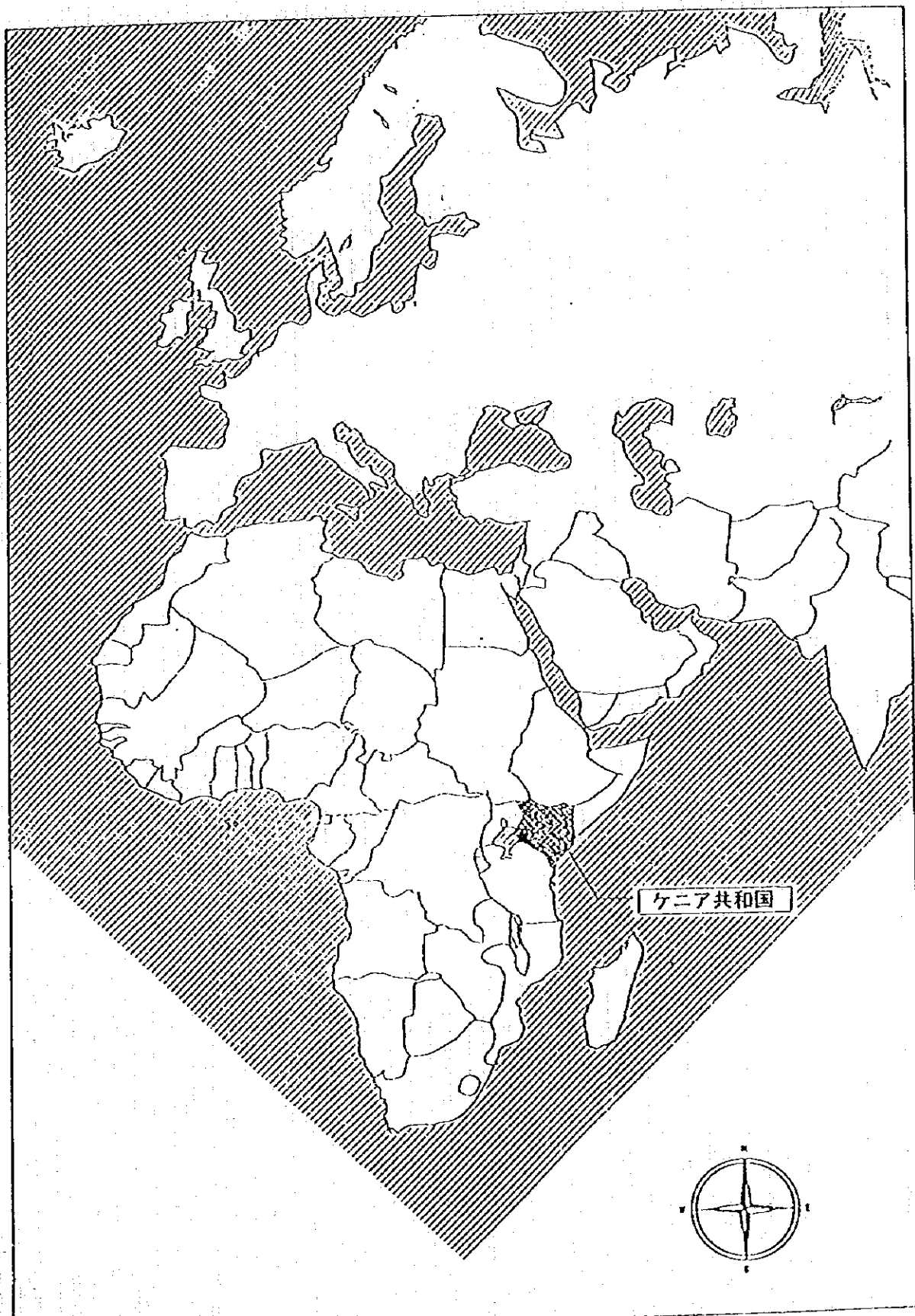


実施協議討議議事録 (R/D) に署名する
千葉団長

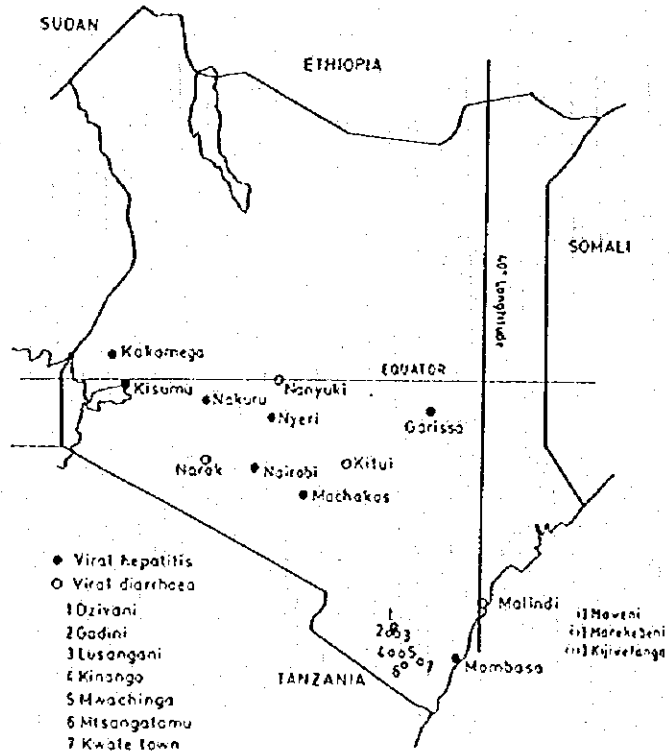


プロジェクト実施協議討議議事録署名
前列右から2人目は田上ケニア事務所長、
前列左端は医療協力部三好職員

地図：ケニア共和国



Map of Kenya showing the many areas where KEMRI - JICA collaboration projects are situated.



目 次

序 文
写 真
地 図

1. 実施協議調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	2
2. 総括報告	3
3. 討議議事録の交渉経緯	5
附属資料	
① 討議議事録 (R/D)	9
② 暫定実施計画 (TSI)	23
③ ケニア側提示のプロポーザル (抜粋)	30
④ フェーズ (I) フォローアップ期総合報告書	113

1. 実施協議調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

(1) ケニア国の保健事情

ケニア共和国（以下ケニアと略す）の保健指標は、サハラ以南アフリカ諸国の中では比較的良いものの、人口増加率等は依然として高く、同国の保健事情は厳しい情勢下にある。ケニアにおける主な死因は、長年、マラリア、急性呼吸器疾患（ARI）、下痢症であったが、近年ではエイズ関連によるものが急増しており、保健事情の一層の悪化が懸念されている。エイズ患者の大部分は20～40代であるが、5歳未満児の発症も多く、母子感染の激しさが窺われる。エイズ感染は拡大傾向にあり、平均寿命の低下も予想されている。

(2) 調査団派遣の経緯

ケニア中央医学研究所（Kenya Medical Research Institute: KEMRI）は、ナイロビに我が国の無償資金協力（昭和57～58年度）により建設された、ケニアの中心的な医学研究所である。同研究所では、昭和60年5月より下痢症研究を中心とした「中央医学研究所プロジェクト」が5年間実施され、引き続き各種感染症の総合的な研究協力のため、「感染症研究対策プロジェクト」が実施された。右プロジェクトでは、ウイルス性下痢症、ウイルス性肝炎、細菌性下痢症、住血吸虫症、フィラリア症の5分野における基礎研究の協力を平成2年5月から平成8年4月30日までの予定で実施している（1年間のフォローアップを含む）。当プロジェクトでは肝炎ウイルス診断キットの現地生産化、下痢症の実態解明、伝播の解析による対策の確立等の成果を上げ、現地有識者による第三者評価でも協力の有効性がうたわれている。

ケニア政府は第7次国家3ヵ年計画（1994～97）において、エイズ・人口問題を重点分野としている。エイズについては、その感染予防、研究開発、教育啓蒙を基本政策とし、KEMRIはその中心的な研究機関としての役割を果たすことを期待されている。係る経緯から、ケニア政府は、HIV/AIDS及び小児の死亡原因の1/4から1/3を占めるARIへの新たな協力と、肝炎対策の一層の充実のためウイルス性肝炎研究の継続協力を要請してきた。

これを受けて、平成8年1月に事前調査団を派遣し、フェーズ（I）の成果を踏まえ次期フェーズの協力内容を協議するとともに、ケニア側の実施体制、特に保健省との連携、予算措置に関し強く要請し、これらにつき確認した。

事前調査結果を踏まえ、今般実施協議調査団を派遣し、次期協力内容を決定するとともに、合意事項を討議議事録（R/D）として締結することとした。

(3) 調査団派遣の目的

事前調査結果を踏まえ、あらかじめケニア側が準備していたフェーズ（II）についての活動プロポーザルに基づき、下記の項目を中心として活動項目を最終確認すると同時に、事前調査時に合意したケニア側負担事項等についても再確認する。合意事項を最終的にR/Dとしてまとめ、署名を執り行う。

調査・打合せ事項

- ① 5年間の活動を各分野ごと（HIV/AIDS、ARI、ウイルス性肝炎）に決定する。
- ② ケニア側の実施体制（ローカルコスト負担等を含む）の確認
- ③ 合意事項をR/Dとして締結する。

1-2 調査団の構成

担当	氏名	所属
団長 総括	千葉 峻三	札幌医科大学医学部小児科学教室教授
団員 計画管理	三好 克哉	国際協力事業団医療協力部医療協力第二課職員

1-3 調査日程

日順	月日	曜日	移動及び業務
第1日	3/24	日	東京発 (NH201) (11:30)
2日	3/25	月	ロンドン発 (BA069) (22:25)
3日	3/26	火	ナイロビ着 (09:55) JICA 事務所表敬、科学技術省 (MRTTT) 表敬、保健省 (MOH) 表敬
4日	3/27	水	KEMRI 所長表敬、協議、日本大使館事前説明
5日	3/28	木	協議、日本大使館表敬
6日	3/29	金	R/D 署名、JICA 事務所報告
7日	3/30	土	資料整理、ナイロビ発 (AF485) (23:05)
8日	3/31	日	パリ着 (06:35)
9日	4/1	月	パリ発 (NH206) (20:00)
10日	4/2	火	東京着 (14:40)

* 三好団員は、ケニア人口教育促進プロジェクト及びケニア医療技術訓練強化プロジェクトに係る業務のため、引き続き4月5日まで現地に滞在した。

1-4 主要面談者

(1) 日本側

堀内 伸介	日本大使館特命全権大使
塩崎 修	日本大使館公使
植松 龍二	日本大使館二等書記官
田上 実	JICA ケニア事務所長
藤江 顕	JICA ケニア事務所員

(2) ケニア側

MR. M.A.OBUDO	PERMANENT SECRETARY, MRTTT
DR. J.N.MWANZIA	DIRECTOR OF MEDICAL SERVICES, MOH
DR. D.K.KOECH	DIRECTOR, KEMRI HQS

2. 総括報告

(1) 調査概要

事前の準備作業として、①ケニア側は事前調査時に合意した活動計画を基に、更に詳細な計画 Tentative Master Plan を作成し、②日本側は R/D 案及び TSI 案を作成した。

1) ケニア側作成のマスタープラン (案)

活動の内容及びタイム・スケジュールは、ほぼこれまでの合意に沿っており大きな問題はなかったが、それぞれの活動項目に付した必要経費 (予算) の合計が、当方で目安的に示してあった予算額をはるかに超えるものであった。また、ケニア側は当初、同案についても合意の上で文書にまとめて署名をする希望であった。

そこで日本側より、ケニア側算出の予算では全く対応不可能な旨を伝え、かなりの減額が必要であること、また本調査期間では同作業を終了する時間的余裕がないことを伝え、ケニア側の了承を得るとともに、活動を開始する7月までに同作業を完了することで双方が合意した。

2) R/D 案について

本案は外務省の「基準 R/D」を基にしており、ほぼそのままの形で署名に至った。ANNEX I として添付する全体の活動計画の部分については、ケニア側作成の活動計画案のうち、各サブ・プロジェクトごとにまとめられた活動目的及びタイム・スケジュールの部分を抜粋し、添付することとした。

R/D 及び TSI は、3月29日、KEMRI 内において、団長、KEMRI 所長により署名され、残る科学技術省 PS、保健省 PS 及び大蔵省 PS の署名を取りつけるべく各省へ持ち込まれた。

(2) 協議の経過

事前調査時にかなり詳細な活動計画まで合意されていたため、R/D の内容については、下記以外には特に大きな問題はなかった。

- 1) 事前調査時に次期プロジェクトの名称を KEMRI/JICA Infectious Diseases Research and Control Project 4th Phase とすることで合意したが、前期プロジェクトの名称とほぼ同じであることなどの理由から、The Research and Control of Infectious Diseases Project (II) in Kenya とすることになった。
- 2) TSI の形式 (フォーマット) について、ケニア側で作成したものと、我が方で事前に準備したものに違いがみられたが、内容的にはほとんど差異が認められなかったため、両案を添付し、今後の活動開始までに調整することとした。
- 3) 初年度に中堅技術者養成対策コースの実施が予定されているため、R/D 本文中に、同コース実施のための記述を追加した。
- 4) R/D 本文中の、日本人専門家に対する特権・免除の記述について、ケニア国大蔵省より、より具体的に、かつ項目を限定した記述に変更するよう要望が出された。内容としては、実際に我が方が不利益を被ることはないと思われたが、①もとの記述は過去の他プロジェクト及び本プロジェクトのこれまでの R/D にも用いられてきたものであり、同記述で問題は生じていないこと、②本 R/D の記述を変更することは、今後他のプロジェクトの R/D にも影響を及ぼすと考えられることから、大使館とも協議の上、我が方としては記述変更は容認できない旨

大蔵省へ伝えた。その結果、大蔵省より記述変更は必要ないとの返答を得たため原案どおりの記述となった。

- 5) かねてより検討してきた P3 ラボラトリー建設については、現地大使館及び KEMRI 側に対し、必要最小限のものを建設する方向で、必要経費、手段について引き続き検討中である旨説明した。

3. 討議議事録の交渉経緯

事前調査時にかなり詳細な活動計画まで合意されていたため、R/D の内容については、下記以外には特に大きな問題点はみられなかった。

(1) R/D の形式（フォーマット）について

本案は外務省の「基準 R/D」を基にしており、ほぼそのままの形で署名に至った。ANNEX I として添付する全体の活動計画の部分については、ケニア側作成の活動計画案のうち、各サブ・プロジェクトごとにまとめられた活動目的及びタイム・スケジュールの部分を抜粋し、添付することとした。

(2) TSI の形式（フォーマット）について

ケニア側で作成したものと我が方で事前に準備したものに違いがみられたが、内容的にはほとんど差異が認められなかったので、両案を添付し、今後の活動開始までに擦り合わせを行うこととした。

(3) 内容の追記について

初年度に中堅技術者養成対策コースの実施が予定されているため、R/D 本文中に、同コース実施のための記述を追加した。

(4) R/D 本文中の、日本人専門家に対する特権・免除の記述について

ケニア国大蔵省より、より具体的に、かつ項目を限定した記述に変更するよう要望が出された。内容としては、実際に我が方が不利益を被ることはないと思われたが、①もともとの記述は過去の他プロジェクト及び本プロジェクトのこれまでの R/D にも用いられてきたものであり、同記述で問題は生じていないこと、②本 R/D の記述を変更することは今後他のプロジェクトの R/D にも影響を及ぼすと考えられることから、大使館とも協議の上、我が方としては記述変更は容認できない旨大蔵省へ伝えた。その結果、大蔵省より記述変更は必要ないとの返答を得たため原案どおりの記述となった。

(5) ケニア側提示のプロポーザルについて

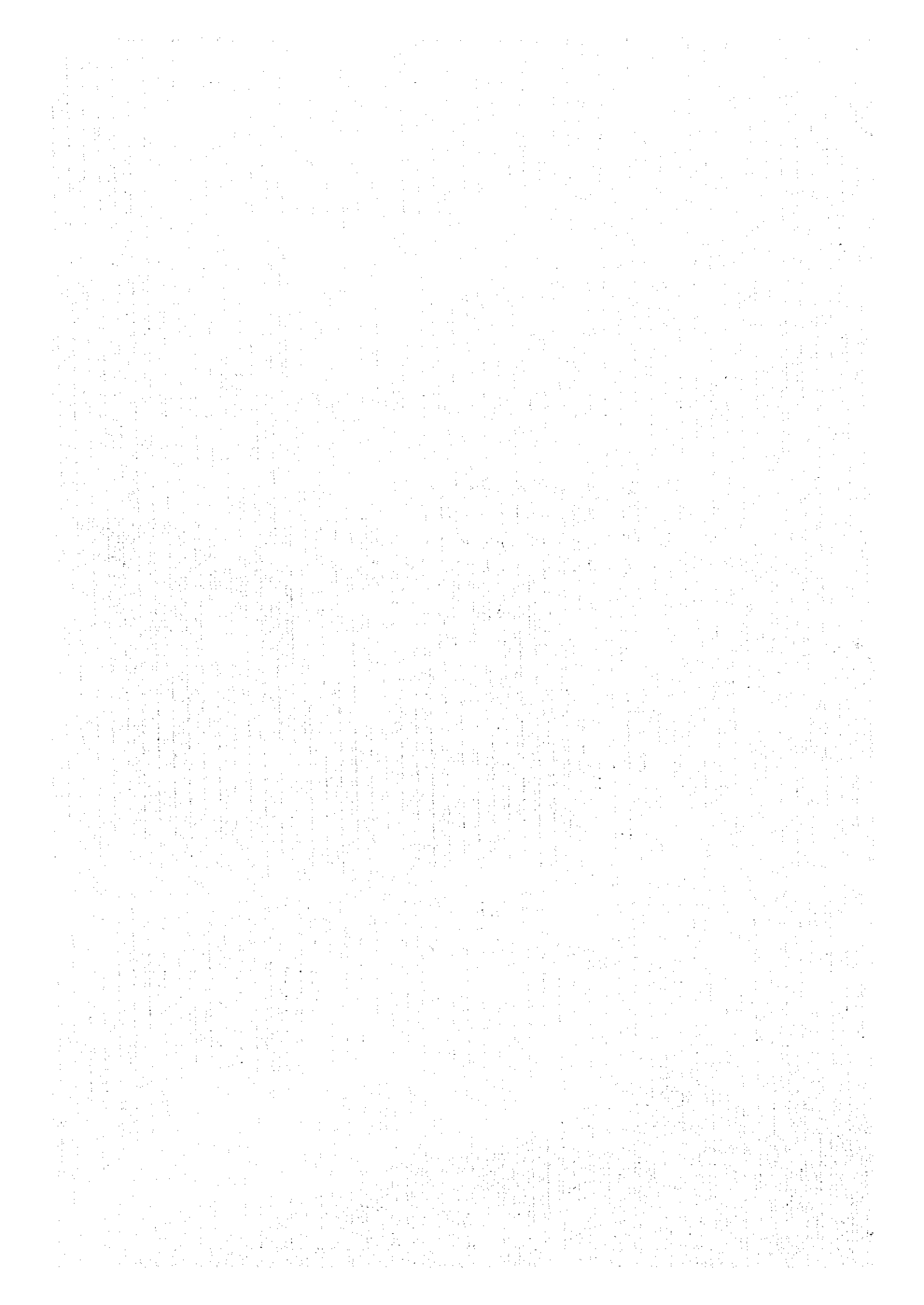
活動の内容及びタイム・スケジュールは、ほぼこれまでの合意に沿っており大きな問題はなかったが、それぞれの活動項目に付した必要経費（予算）の合計が、当方で目安的に示してあった予算額をはるかに超えるものであった。また、ケニア側は当初、同案についても合意の上で文書にまとめて署名をする希望であった。

そこで日本側より、ケニア側算出の予算では全く対応不可能な旨を伝え、かなりの減額が必要であること、また本調査期間では同作業を終了する時間的余裕がないことを伝え、ケニア側の了承を得るとともに、活動を開始する 7 月までに同作業を完了することで双方が合意した。

R/D 及び TSI は、3 月 29 日に KEMRI 内において、団長、KEMRI 所長により署名され、その後、科学技術省 PS、保健省 PS 及び大蔵省 PS の元へ持ち込まれ署名が取り付けられた。

附 属 資 料

- ① 討議議事録 (R/D)
- ② 暫定実施計画 (TSI)
- ③ ケニア側提示のプロポーザル (抜粋)
- ④ フェーズ (I) フォローアップ期総合報告書



① 討議議事録 (R/D)

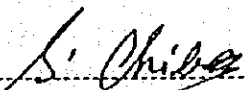
THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF KENYA
ON THE
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE RESEARCH AND CONTROL OF INFECTIOUS DISEASES PROJECT (II)
IN KENYA

The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team" organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Shunzo Chiba, visited the Republic of Kenya for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme concerning the Research and Control of Infectious Diseases Project (II) in Kenya.

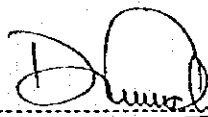
During its stay in the Republic of Kenya, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Kenyan authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Kenyan authorities concerned agreed to recommend to their Governments the matters referred to in the document attached hereto.

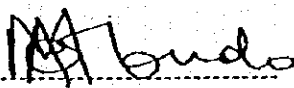
Nairobi, March 29, 1996



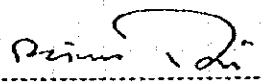
DR. SHUNZO CHIBA
Leader
Implementation Study Team
Japan International Cooperation Agency
JAPAN



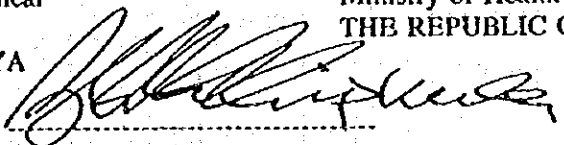
DR. DAVY K. KOECH
Director
Kenya Medical Research Institute
THE REPUBLIC OF KENYA



MR. M. A. OBUDO
Permanent Secretary
Ministry of Research, Technical
Training & Technology
THE REPUBLIC OF KENYA



MR. DONALD B. KIMUTAI
Permanent Secretary
Ministry of Health
THE REPUBLIC OF KENYA



MR. BENJAMIN K. KIPKULEI
Permanent Secretary
The Treasury
THE REPUBLIC OF KENYA

ATTACHMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Republic of Kenya will implement the Research and Control of Infectious Diseases Project (II) in Kenya (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of Kenya upon being delivered c.i.f. to Kenyan authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF THE KENYAN PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive the Kenyan personnel connected with the Project for technical training in Japan.

A. C.

MA



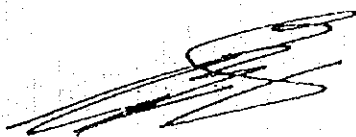
DK
Pin

III MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF KENYA

1. The Government of Kenya will take the necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation through the full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of Kenya will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Kenyan nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of Kenya.
3. The Government of Kenya will grant privileges, exemptions and benefits as listed in ANNEX IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favourable than those granted to experts of third countries of International Organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Government of Kenya will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of Kenya will take the necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Kenyan personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Kenya, the Government of Kenya will take the necessary measures to provide at its own expense:

S.C.

MS

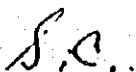
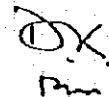


DX
Pm

- (1) Services of the Kenyan counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX V.
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in ANNEX VI.
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above.
 - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the Republic of Kenya.
 - (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Kenya, the Government of the Republic of Kenya will take the necessary measures to meet:
- (1) Expenses necessary for the transportation within the Republic of Kenya, of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof.
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Republic of Kenya on the Equipment referred to in II-2 above.
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director of KEMRI as the Project Director will bear the overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Project Coordinator will bear the overall responsibility for the managerial and technical matters of the Project.



3. The Japanese Chief Advisor will provide the necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Coordinator on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give the necessary technical guidance and advice to the Kenyan counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of the technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Kenyan authorities concerned at mid-term and during the last six months of the cooperation term.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Kenya undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Kenya except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Record of Discussions.

S.C.

M.A.C.



OK.
M

VIII TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from 1 May, 1996 to 30 April, 2001.

IX SPECIAL MEASURES FOR TRAINING OF MIDDLE-LEVEL MANPOWER


The Government of Japan will supplement a portion of the following local expenditures necessary for the training programmes for middle-level manpower conducted in the Republic of Kenya.

- (1) Travelling allowances for the training of participants between their assigned places and the site of the training.
- (2) Cost of the production of teaching materials.
- (3) Travelling cost of the training participants for their field trips.
- (4) Cost for procurement of supplies and equipment necessary for the training programmes.
- (5) Travelling allowances of the local instructors of the training programmes accompanying the trainees on their field trips.
- (6) Remuneration of the instructors invited from institutions other than those directly connected with the Project.

Japanese funding for the above-mentioned expenses will be reduced annually. The reduction of the Japanese funding will be compensated by additional Kenyan funding.

b.c.

M.A.



D.K.
D.K.

ANNEX I - MASTER PLAN

- ANNEX I-1 HIV/AIDS PROGRAMME
- ANNEX I-2 ARI PROGRAMME
- ANNEX I-3 VH PROGRAMME

ANNEX II - LIST OF JAPANESE EXPERTS

ANNEX III - LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

ANNEX IV - PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE
EXPERTS

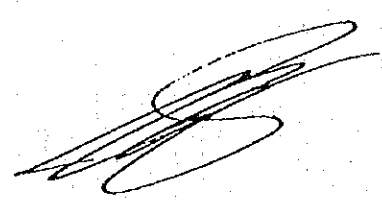
ANNEX V - LIST OF KENYAN COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE
PERSONNEL

ANNEX VI - LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

ANNEX VII - JOINT COORDINATING COMMITTEE

S.C.

M.A.O



D.K.
R

ANNEX I - 1

MASTER PLAN

Programme: HIV/AIDS

Coordinator: Dr. P. M. Tukei

Objective	Verifiable Indicators	Means of Verification		
To develop and install technical capability and capacity for the prevention, control and management of HIV/AIDS through multidisciplinary scientific investigations	Quantitative: 1) Number of diagnostic kits produced. 2) Number of virus strains isolated. 3) Number of scientists trained. ----- Qualitative: 1) Reliability of products. 2) Capability of counterparts.	Publications	Reports	Internal and External Reviews
SSC No.	Sub-programme	From	To	Officer in-charge
001	Development of sustainable diagnostic kits for HIV	Jan 97	Dec 1999	Dr. B. Khan Mr. E. M. Songok
002	Isolation and characterization of the virus	Dec 1998	Dec 2000	Mr. E. M. Songok
003	Screening of plant compounds for antiviral activity	Jan 1997	Dec 2000	Dr. W. M. Kofi-Tsekpo
004	Studies on aetiology, epidemiology, diagnosis, clinical management, natural history, prevention and control of opportunistic infections in HIV/AIDS	Jan 1997	Jul 1999	Dr. P. Waiyaki Dr. M. Chakaya Dr. P. Orege Dr. A. Oloo
005	Vertical transmission of HIV and prophylaxis	Jan 1997	Dec 1998	Prof. J. Mati Dr. L. Kirumbi
006	Nutrition and HIV infection	Jan 1997	Dec 2000	Mr. J. Muttunga
007	Immunology of HIV and co-infection	Jan 1997	Mar 2001	Mr. J. Mwatha Dr. J. Ochola
008	Community based health education and sociological studies	Jan 1997	Mar 2001	Mr. M. Karama Mr. W. Kisingu

S.C.

M.T.

ANNEX I - 2

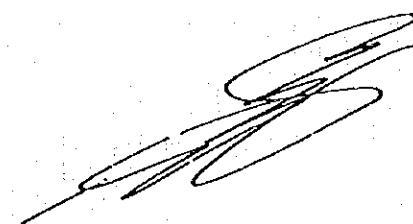
Programme: ARI

Coordinator: Dr. J. A. Odhiambo

Objective		Verifiable Indicators		Means of Verification
To develop basic capabilities and capacities for the prevention, control and management of acute respiratory infections through multidisciplinary scientific investigations		Quantitative: 1) Number of pathogens isolated and identified. 2) Number of scientists trained. 3) Number of cases studied ----- Qualitative: 1) Improved management strategies of ARI 2) Capability of counterparts		Publications Records Internal and External Reviews
SSC No.	Sub-programmes	From	To	Officer in-charge
009	Studies on aetiology of ARI due to bacterial, viral and fungal infections	Jan 1997	Dec 2000	Dr. J. Odhiambo Dr. W. Ochieng Ms. C. Bii
010	Clinical studies of ARI	Jan 1997	Dec 2000	Dr. M. Chakaya Dr. A. Oloo
011	Epidemiology of ARI	Jan 1997	Dec 2000	Dr. Y. Kombe
012	Drug sensitivity studies	Jul 1996	Dec 1998	Dr. W. Kofi-Tsekpo
013	Differential diagnosis of malaria and ARI	Jun 1997	Dec 1998	Dr. A. Oloo
014	Immunocorrelates in ARI	Jan 1997	Dec 2000	Mr. K. Gachuhi
015	Community based health education	Jul 1996	Mar 2001	Dr. M. Amuyunzu

S.C.

MAS



Dr.
PM

ANNEX I - 3

Programme: Viral Hepatitis

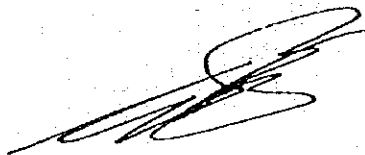
Coordinator: Dr. F. A. Okoth

Objective		Verifiable Indicators		Means of Verification
To prevent viral hepatitis and control related hepatocellular carcinoma		Quantitative: 1) Number of kits produced. 2) Number of kits utilized 3) Number of countries utilizing the kit 4) Number of scientists trained ----- Qualitative: 1) Level of blood safety countrywide 2) Reduction in post-transfusion hepatitis		Publications Records Internal and External Reviews
SSC No.	Sub-programmes	From	to	In-charge
016	Production of lyophilized KEMRI Hep cell and alafeto protein kits	July 96	Dec 2000	Mr. P. Kaiguri Mr. N. Ragot
017	Promotion of sustainable blood screening to reduce viral hepatitis	Ongoing	May 2001	Mr. J. Tuei Dr. J. Nyamongo
018	Promotion of widespread utilization of KEMRI Hep Cell in Africa	Oct 96	Dec 99	Dr. P. Tukei
019	Introduction of sensitive molecular diagnostic technique, eg. PCR for HBV HCV, HEV and HGV	Dec 96	Dec 97	Mr. M. Mathenge
020	Basic studies on hepatocellular carcinoma	Jan 97	Dec 97	Dr. F. Okoth

NB: SSC = Scientific Steering Committee of KEMRI

S.C.

MAO



Dr.
OK

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Chief Advisor
2. Coordinator
3. Experts in the fields of:
 - (a) HIV/AIDS
 - (b) Acute Respiratory Infections (ARI)
 - (c) Viral Hepatitis (VH)
4. Others mutually agreed upon as necessary e.g. in respect to maintenance of equipment

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Machinery and Equipment
 - (a) HIV/AIDS
 - (b) Acute Respiratory Infections (ARI)
 - (c) Viral Hepatitis (VH)
2. Machinery and equipment in other related fields mutually agreed upon as necessary

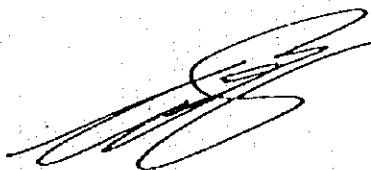
ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Kenya will grant the following:

1. Exemption from income tax and other charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad.

S.C.

M.A.S.



DK
Pm

2. Exemption from customs duties, internal taxes and any other charges imposed on personal and household effects of the Japanese experts and their families including one motor vehicle per expert.
3. Issue of identification cards to the Japanese experts, to secure the cooperation of the authorities concerned of the Republic of Kenya necessary for the performance of the duties of the Japanese experts and their families.
4. Exemption from customs duties, internal taxes and any other charges imposed on the machinery and equipment relating to the activities of the Project.

ANNEX V

LIST OF KENYAN COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Project Director (Director, KEMRI)
2. Project Coordinator
3. Project Administrator
4. Counterpart Personnel in the following fields:
 - (1) HIV/AIDS
 - (2) Acute Respiratory Infections (ARI)
 - (3) Viral Hepatitis (VH)
 - (4) Others mutually agreed upon as necessary
5. Administrative and Supporting Personnel
 - (1) Engineering and Maintenance Staff
 - (2) Secretarial staff
 - (3) Accounts staff
 - (4) Supplies staff
 - (5) Clerical staff

S. C.

M. A.



D.K.
24

- (6) Drivers
- (7) Other supporting staff mutually agreed upon as necessary

ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land
2. Buildings and Facilities
 - (1) Sufficient facilities for the implementation of the Project
 - (2) Offices and other necessary facilities for the Japanese experts
 - (3) Facilities such as electricity, gas, and water supply, sewerage systems, telephone and furniture necessary for the Project activities.
 - (4) Transportation facilities for the implementation of the Project
 - (5) Other facilities mutually agreed upon as necessary

ANNEX VII JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions:

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever necessary to:

 - (1) Formulate an annual work plan for the Project under the framework of this Record of Discussions.
 - (2) Review the overall progress of the technical cooperation programme as well as the achievements of the above mentioned annual work plan
 - (3) Review and discuss major issues arising from or related to the technical cooperation programme.
 - (4) Discuss any matters to be mutually agreed upon as necessary concerning the Project.
2. Composition:
 - (1) Chairman : Project Director (Director, KEMRI)
 - (2) Members:

S.C.

M.A.O.

OK.
on

Kenyan side:

- (a) Permanent Secretary, Ministry of Research, Technical Training and Technology (or representative)
- (b) Permanent Secretary, Ministry of Finance (or representative)
- (c) Director of Medical Services, Ministry of Health (or representative)
- (d) Project Coordinator
- (e) HIV/AIDS, ARI and VH Programme Coordinators
- (f) Project Administrator
- (g) Other personnel mutually agreed upon as necessary to attend the meeting

Japanese Side:

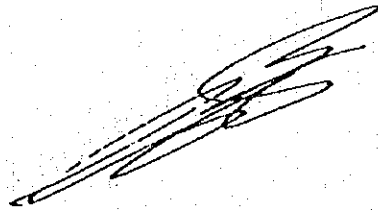
- (a) Chief Advisor
- (b) Coordinator
- (c) Other experts
- (d) Other personnel to be dispatched by JICA
- (e) Resident Representative of JICA Kenya Office

Note:

1. Official(s) of the Embassy of Japan in the Republic of Kenya may attend the Joint Coordinating Committee as observer(s)
2. Personnel designated by the Chairman of the Joint Coordinating Committee may attend the meeting as observer(s)

S.C.

M.A.



D.K.
Sim

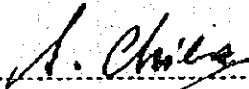
② 暫定実施計画 (TSI)

**TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION OF THE
RESEARCH AND CONTROL OF INFECTIOUS DISEASES PROJECT (II)
IN KENYA**

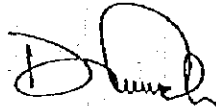
The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team" and the Kenyan authorities concerned have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of the Research and Control of Infectious Diseases Project (II) in Kenya (hereinafter referred to as "the Project") as attached hereto.

The Tentative Schedule of Implementation has been formulated in accordance with the Record of Discussions signed between the Team and the Kenyan authorities concerned with the Project, and is subject to the budget allocations by both countries necessary for the implementation of the Project. This Tentative Schedule of Implementation is subject to the budget allocations by both countries necessary for the implementation of the Project. This Tentative Schedule of Implementation is subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of the implementation of the Project.

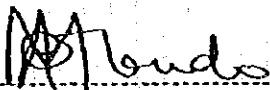
Nairobi, March 29, 1996



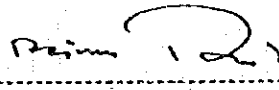
DR. SHUNZO CHIBA
Leader
Implementation Study Team
Japan International Cooperation Agency
JAPAN



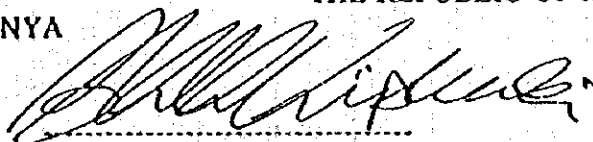
DR. DAVY K. KOECH
Director
Kenya Medical Research Institute
THE REPUBLIC OF KENYA



MR. M.A. OBUDO
Permanent Secretary
Ministry of Research, Technical
Training & Technology
THE REPUBLIC OF KENYA



MR. DONALD B. KIMUTAI
Permanent Secretary
Ministry of Health
THE REPUBLIC OF KENYA



MR. BENJAMIN K. KIPKULEI
Permanent Secretary
The Treasury
THE REPUBLIC OF KENYA

PROPOSED BY KEMRI

Table 1 Tentative Schedule of Implementation

ACTIVITIES	1996		1997		1998		1999		2000	
	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH
RESEARCH PROTOCOLS										
I. HIV/AIDS										
01. [SSC001] Development of diagnostic kits										
02. [SSC002] Isolation/characterization of HIV										
03. [SSC003] Plant compounds screening										
04. [SSC004] Opportunistic infections										
05. [SSC005] Vertical transmission										
06. [SSC006] Nutrition and HIV										
07. [SSC007] Immunology of HIV and coinfections										
08. [SSC008] Community based health education										
II. ACUTE RESPIRATORY INFECTIONS										
01. [SSC009] Aetiology (Bacterial, Viral, Fungal)										
02. [SSC010] Clinical studies of ARI										
03. [SSC011] Epidemiology of ARI										
04. [SSC012] Drug sensitivity studies										
05. [SSC013] Differential diagnosis (Malaria/ARI)										
06. [SSC014] Immunocorrelates in ARI										
07. [SSC015] Community based health education										
III. VITAL HEPATITIS										
1. [SSC016] Production of Hepcal/Alfalet protein										
2. [SSC017] Promotion of blood screening										
3. [SSC018] Promotion of Zepcell Kit in Africa										
4. [SSC019] PCR for HBV, HCV, HEV and HGV										
5. [SSC020] Basic studies/hepatocellular carcinoma										

M.A. B.O.

YQ

PROPOSED BY KERRI

Table 2 Tentative Schedule of Implementation

ACTIVITIES	1996		1997		1998		1999		2000		2001	
	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH
DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS												
LONG-TERM EXPERTS												
01. Chief Advisor												
02. Coordinator												
03. HIV/AIDS												
04. ARI												
05. Hepatitis												
SHORT-TERM EXPERTS												
01. PCR/HIV/AIDS/ARI/VE												
02. Medicinal Plant/HIV/AIDS												
03. Molecular Epidemiology/HIV/AIDS												
04. Anti-Virus Agents/HIV/AIDS												
05. Serum Bank/HIV/AIDS												
06. Immunology												
07. Opportunistic Infection												
08. Bronchofiberscopy/ARI												
09. Microbiology [Bacteriology/Aseptic/Virology]/ARI												
10. Hepatocellular Carcinoma/VE												
11. Molecularbiology/VE												
12. Diagnostic Kits Production /VE												
13. Equipment Maintenance												

MRB
2.4

Table 3 Tentative Schedule of Implementation PROPOSED BY KERRI

Handwritten scribbles and initials

ACTIVITIES	1995		1997		1998		1999		2000		2001	
	05	12	01	06	12	01	06	12	01	06	12	01
TRAINING OF KENYAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN												
01. Bronchofiberscopy	-----			-----			-----			-----		
02. PCR for HIV/AIDS, ARI and EV	-----			-----			-----			-----		
03. Diagnostic Kit Development for HIV/AIDS				-----			-----			-----		
04. Anti-HIV drug assays				-----			-----			-----		
05. Anti-HIV enzyme assays				-----			-----			-----		
06. Immunology of viral infections				-----			-----			-----		
07. Hepatology				-----			-----			-----		
08. Isolation, culture and identification of virus				-----			-----			-----		
09. Maintenance of equipment				-----			-----			-----		
10. Project management				-----			-----			-----		
STUDY MISSIONS												
01. Consultation Study Team				█								
02. Advisory Study Team										█		
03. Evaluation Team												
04. Equipment Repair Team												
MAJOR EQUIPMENT												
	40,000			30,000			25,000			25,000		15,000
	Unit:K Kshs											

Handwritten initials and signature

Handwritten initials: *SK*

Handwritten signature

Table 1 TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION (JAPANESE SIDE) - HIV/AIDS

ACTIVITIES	1996	1997	1998	1999	2000	2001
YEAR	MONTH	MONTH	MONTH	MONTH	MONTH	MONTH
1. Molecular epidemiology of HIV PCR — KEMRI — BUSIA 2. Cohort Study - HIV 3. Anti-HIV substances - Opportunistic infection - Sampling - Determination of antiviral activity, Purification 4. Test Kit - Determination of basic conditions - Preparation of antigens - Production of the kit	5...8...12	1...6...12	1...6...12	1...6...12	1...6...12	1234
DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS						
LONG-TERM EXPERTS (Chief Advisor) { Coordinator) 1. Test Kit - Gelatin particle carriers - Red blood cell carriers 2. Anti-HIV substances - Qualitative analysis - Purification, Activity 3. Cohort Study						
SHORT-TERM EXPERTS 1. Molecular epidemiology of HIV 2. Cohort Study 3. Anti-HIV substances - Qualitative analysis - Gelatin particle carriers 4. Test Kit - Red blood cell carriers - Preparation of antigens						
TRAINING OF KENYAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN						
MISSION		Implement. Study	Advisory Team		Evaluation Team	

Handwritten initials: *MR* and *J.C.*



 5.9
 MR

Table 2 TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION (JAPANESE SIDE) - ARI

ACTIVITIES	YEAR					2001
	1996	1997	1998	1999	2000	
	5...8...12	1...6...12	1...6...12	1...6...12	1...6...12	1234
1. Epidemiology	----->	----->	----->	----->	----->	
2. Selective diagnosis	----->	----->	----->	----->	----->	
3. Microbiological analysis	----->	----->	----->	----->	----->	
4. Immunological research	----->	----->	----->	----->	----->	
5. Clinical research	----->	----->	----->	----->	----->	
DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS						
LONG-TERM EXPERTS (Chief Advisor) (Coordinator)	----->	----->	----->	----->	----->	
1. Control of ARI Research - Coordinator	----->	----->	----->	----->	----->	
SHORT-TERM EXPERTS						
1. Adjustment on microbial work	----->	----->	----->	----->	----->	
2. Microbiology	----->	----->	----->	----->	----->	
3. Immunology				----->	----->	
4. Clinical observation				----->	----->	
TRAINING OF KEVYAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN						
1. Bronchofiberscopic Techniques	----->					
MISSION		Implement. Study	Advisory Team		Evaluation Team	

Handwritten scribbles and initials at the top of the page.

Table 3 TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION (JAPANESE SIDE) - VIRAL HEPATITIS

ACTIVITIES	Y E A R					2001
	1996	1997	1998	1999	2000	
1. To product 2nd generation Hep Cells	5...8...12	1...6...12	1...6...12	1...6...12	1...6...12	1234
2. Blood screening for HBV	←→	←→	←→	←→	←→	
3. Diagnostic Center for the hepatitis virus	←→	←→	←→	←→	←→	
4. Pathology for HCC	←→	←→	←→	←→	←→	
5. Widespread utilization of Hep Cell for other countries	←→	←→	←→	←→	←→	
DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS						
LONG-TERM EXPERTS (Chief Advisor) (Coordinator)						
1. Viral Hepatitis - Coordinator						
SHORT-TERM EXPERTS						
1. Kit-production	←→	←→	←→	←→	←→	
2. PCR Laboratory	←→	←→	←→	←→	←→	
3. Pathology	←→	←→	←→	←→	←→	
4. Hepatitis Research	←→	←→	←→	←→	←→	
TRAINING OF KENYAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN						
1. Hepatitis Research	←→	←→	←→	←→	←→	
MISSION						
	Implement. Study	Advisory Team			Evaluation Team	

Handwritten initials 'MAB' and 'S.C.' on the right side of the page.